

科目名 Course Name	日本語Ⅲ JapaneseⅢ						
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	田村眞依子						
連絡先(質問等)	本館 3F 研究室か、メール、LINE に対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	必修(留学生のみ。日本人は受講不可。)						
関連 DP	DP1,DP2,DP6						
授業の概要と到達目標	既習の文法を復習しながら、大学での講義を聞いて概要が正しく理解できる力を身につける。講義の流れや因果関係、文章構造等を意識して、日本語でノートが取れるようにする。						
授業の方法	CD を 2 回聞き、問題 A に取り組む。再度聞き、問題 B、C に取り組む。グループワークで互いの回答を確認した後で、代表者が発表。全員でスクリプトを見ながら確認する。残りの時間で問題 D に取り組み、終わらなかつたら次回までの課題とする。						
学習成果	L01	大学の講義や発表を聞き、話者の主張や意図がわかる。 流れや因果関係、文章構造等を意識して、内容を日本語でノートにまとめることができる。					
	L02						
	L03						
	L04	グループワークに参加し、互いの意見を述べ合うことができる。必要に応じて理由を述べることができる。他の意見も尊重し、話し合っ、より良い解答を見出すことができる。					
課題に対するフィードバック	小テストや期末試験後には模範解答を示し、試験結果は授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解(中上級)』(スリーエーネットワーク)						
履修上の留意点やルール等	指定されたクラスで履修すること。特に事後学習が必要となり、費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験	6 年(海外 3 年、国内 3 年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	各課毎に設定された問題 C、D に取り組んだ後、必ず教員のチェックを受けること。誤字脱字や接続表現の間違いがなく、内容が合っていれば満点を与える。	10			
発表					
小テスト	毎時間 10 分程度の小テストを行い、前回の内容が理解できているか確認する。1 問 1 点で 10 問程度出題。満点の条件は、誤字脱字なく、正しい文法が使用できていることである。毎回の得点の合計を実施回数で割り、総合評価の 20%とする。	20			
試験	学期末に聴解問題を主とした筆記試験を行う。選択問題以外に、記述問題もある。満点の条件は、誤字脱字なく、正しい文法で、求められた内容について解答できていることである。				70
その他					
合計		30			70

回数		授業計画
1	授業内容	第1課 掃除
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
2	授業内容	第2課 本屋
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
3	授業内容	第3課 新幹線のおでこ
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
4	授業内容	第4課 体験プレゼント
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
5	授業内容	第5課 そば屋ののれん
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
6	授業内容	第6課 犬の肥満
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
7	授業内容	第7課 卵かけご飯
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
8	授業内容	第8課 女性専用車両
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
9	授業内容	第9課 剣道
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
10	授業内容	第10課 落語
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
11	授業内容	第11課 そばをすする音
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
12	授業内容	第12課 将棋
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
13	授業内容	第13課 南極
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
14	授業内容	第14課 明治神宮の森
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D
15	授業内容	第15課 虚偽の自白
	事前・事後学習	キーワードの確認、問題 C の残り、D